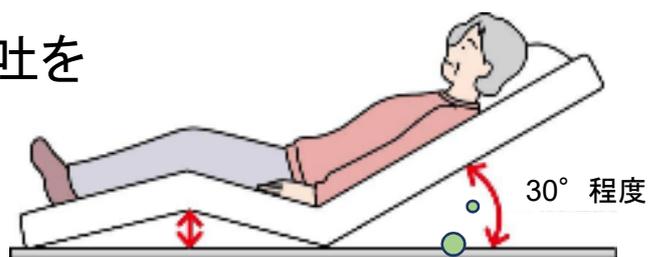




「経管栄養の体勢と速度について」

注入中の体勢について！

栄養剤の逆流による誤嚥、嘔吐を防ぐためにも30°以上のギヤッチアップが必要



ずれが無いように下肢を挙げる

投与後は30分～1時間、上半身を起こした姿勢を保つ！

注入中の体位変換、特に長期投与の患者にはこまめに体位変換必要

注入の速度について！



特別な指示がない場合、200ml/hで落ちる速さで調整！

REF-P1に関して、時間の経過で固形化していくため1時間以内に投与を終了させる！

腸痙は100ml/h以下で滴下をあわせてください。
ダンピング症状に注意！

出典：経腸栄養の基礎シリーズ3
下痢をどう防ぐ？どう止める？
<https://www.meiji.co.jp/meiji-nutrition-info/pdf/science/enteral/basic03.pdf>

NSTへのお問い合わせは栄養管理部またはリンクナースへ
(栄養管理部PHS：913・970)